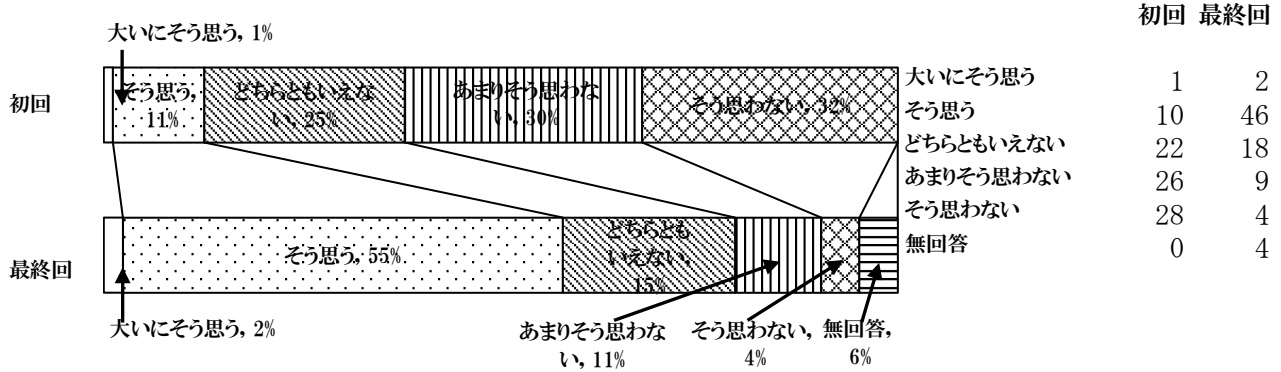


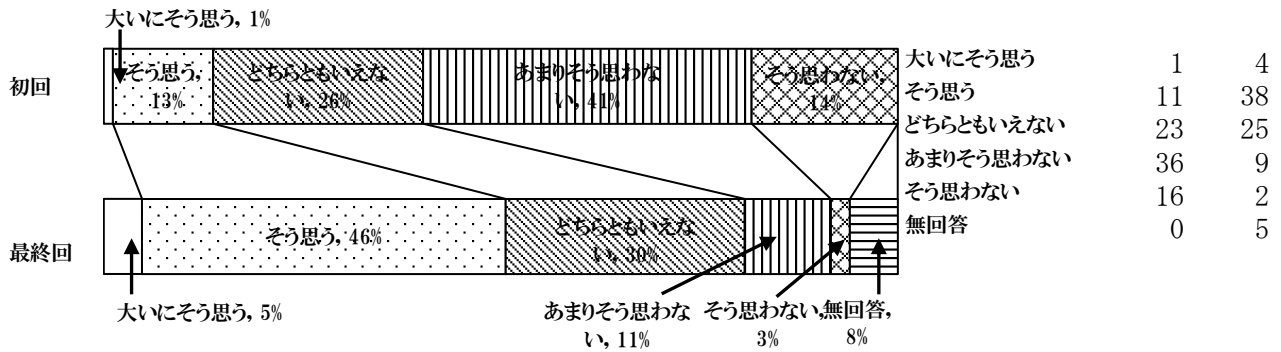
平成28年度 成果指標 Can-do調査の結果： 外国籍県民等支援事業 日本語ボランティア入門講座

				初回	最終
外-01-1	平成28年	4月9日～7月30日	全15回	14	13
外-01-2	平成28年	6月9日～8月4日	全15回	19	18
外-01-3	平成28年	9月2日～12月16日	全15回	15	16
外-01-4	平成28年	10月4日～2月7日	全15回	19	17
外-01-5	平成29年	1月11日～3月1日	全15回	20	19
				87	83

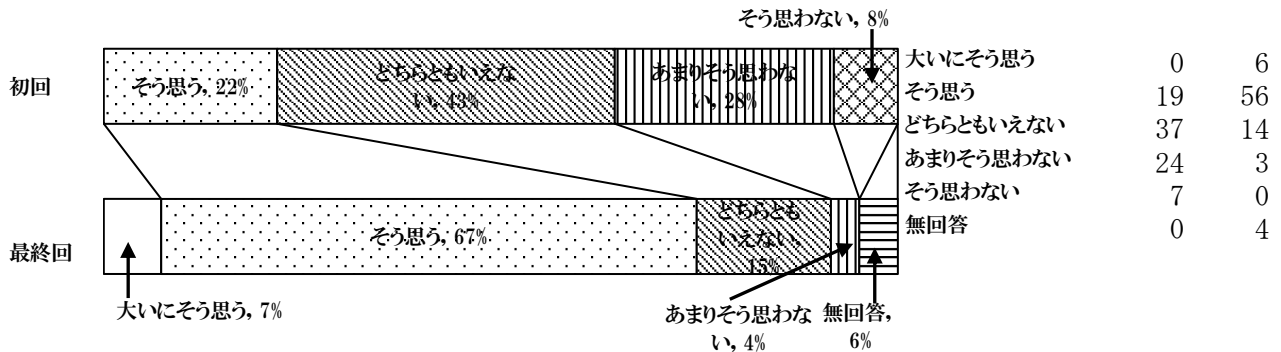
1. かながわの外国籍県民の状況とその地域的特色の概要がわかっている



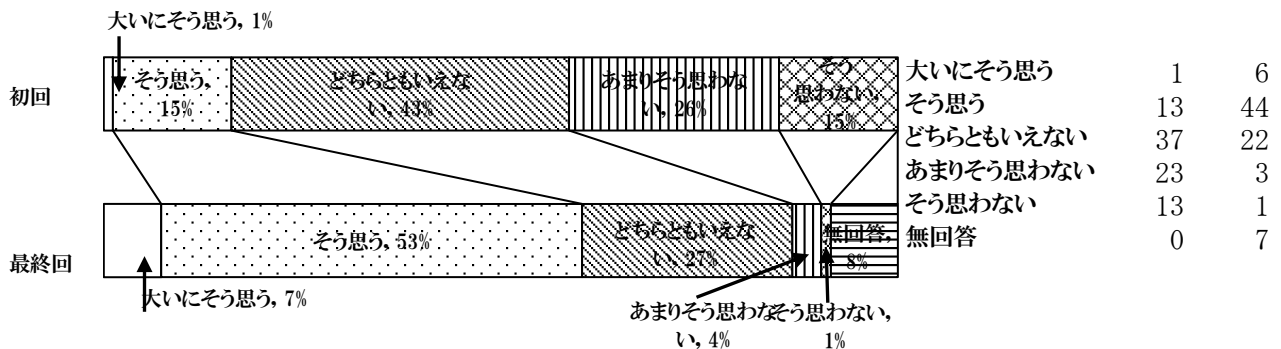
2. 外国から来て地域で生活する人には、どんな日本語支援が必要か、具体的にわかっている



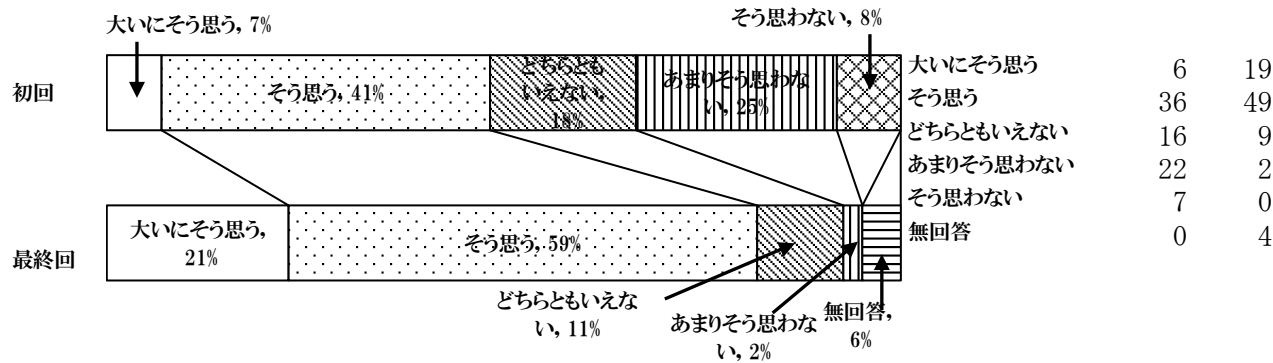
3. 日本語ボランティアの役割についてわかっている



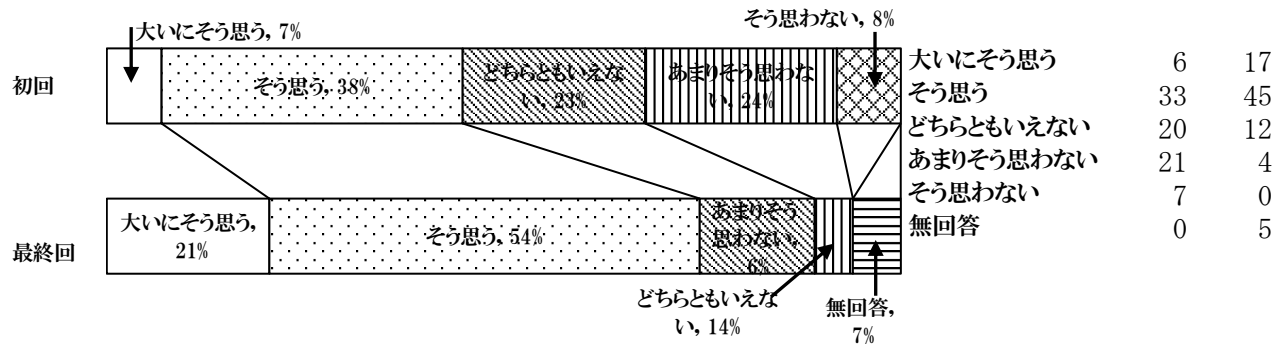
4. 日本語ボランティア活動が、外国から来た人へのことばの支援を通した生活支援であることを理解し、日本語教室で遭遇するかもしれない具体的な事柄がわかっている



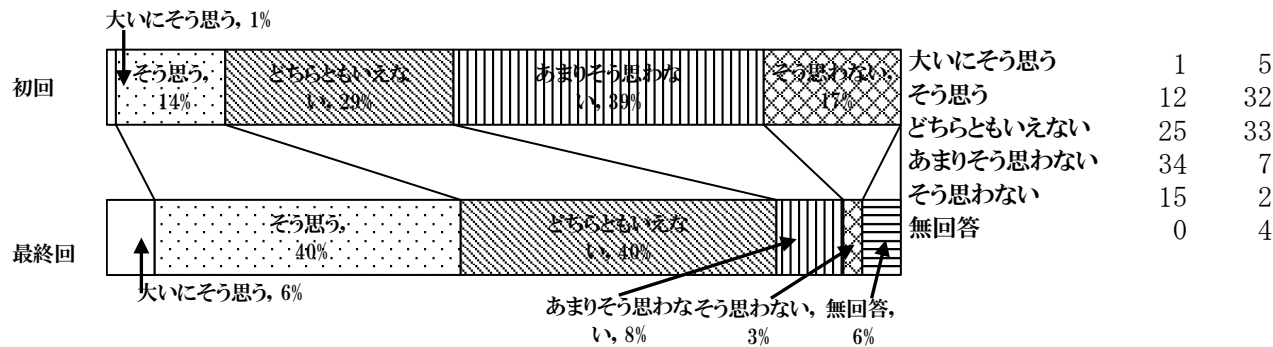
5. 外国語として日本語を学ぶときの方法は、日本の学校で「国語」を学ぶときの方法とは違うということが、具体的にわかっている



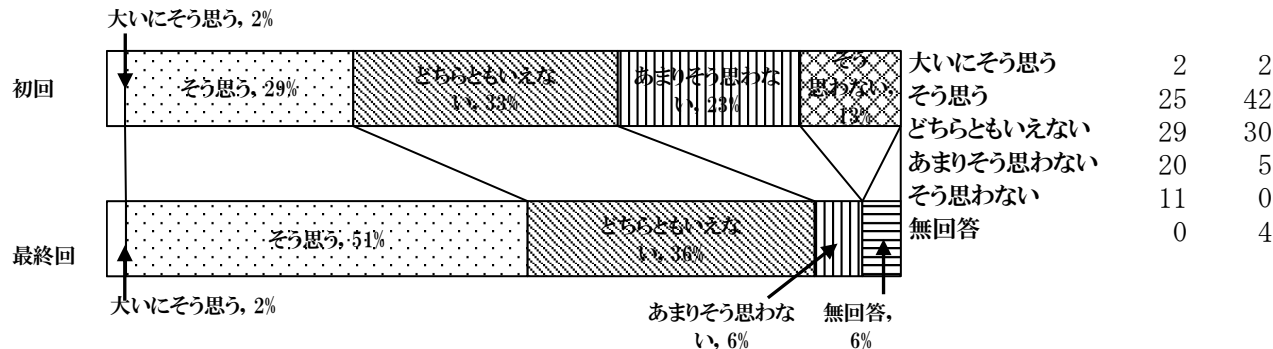
6. 日本語の学び方や学ぶときの難しさが、外国から来た人それぞれの状況で異なるということについて、具体的にわかっている



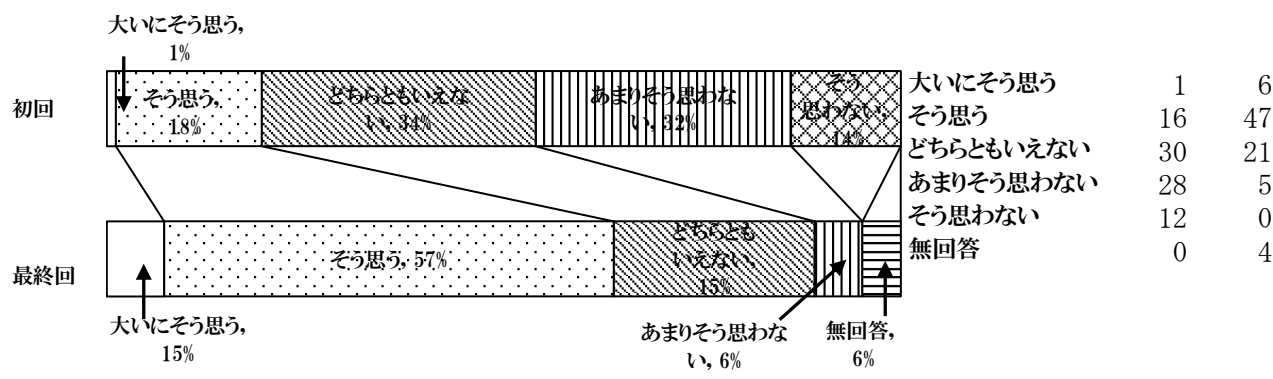
7. 外国から来た人に「やさしい日本語」(日本語を母語としない人にわかりやすい表現や使い方)を使って、自己紹介や物事の説明ができる



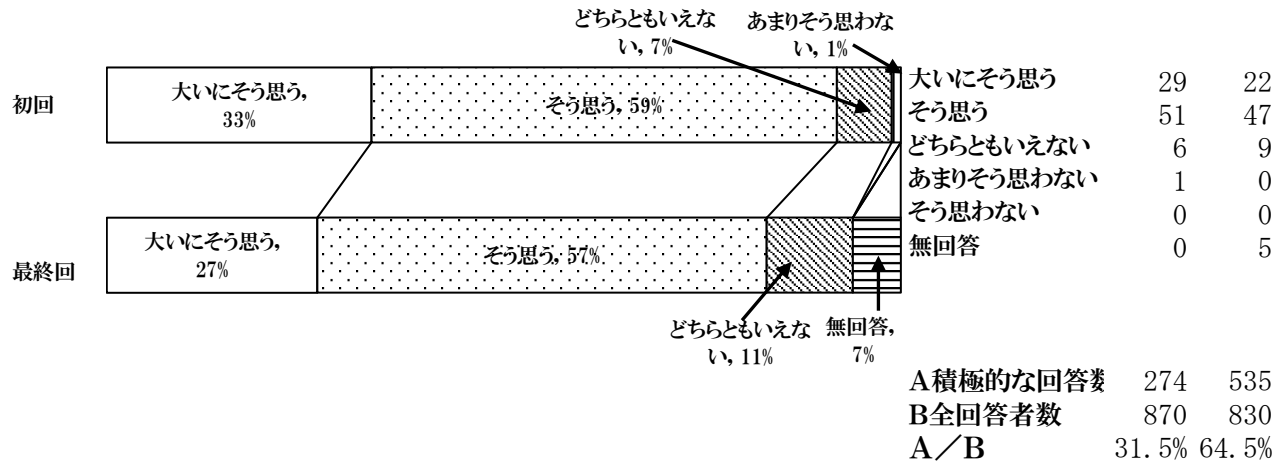
8. 日本語ボランティアの役割や活動を理解した上で、自分なりの対応範囲を考えて行動することができる



9. 日本語が通じにくい相手とのコミュニケーションや学習に、絵や道具がどう役立つかを理解して具体的な準備ができる



10. (講座で学んだことをもとにして)外国から来た人のために、日本語ボランティア活動を何らかの形でしてみたい加したい

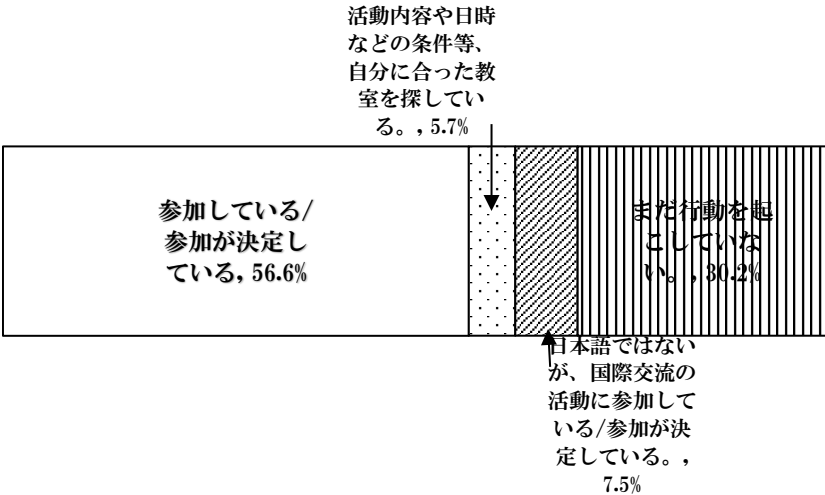


平成28年度
外国籍県民等支援事業

日本語ボランティア入門講座
講座終了後の行動変容アンケート集計結果

各講座の修了者に講座終了後3ヶ月の時点でアンケートを送付し、回答を集計
(回答者数83名中53人)

1 日本語ボランティア団体（学習支援も含む）に参加し、活動をしていますか。



参加している/参加が決定している	30
見学に行った/行く予定	0
活動内容や日時などの条件等、自分に合った教室を探している。	3
日本語ではないが、国際交流の活動に参加している/参加が決定している。	4
まだ行動を起こしていない。	16

2 「まだ行動を起こしていない」理由を教えてください。 その他, 6.3%

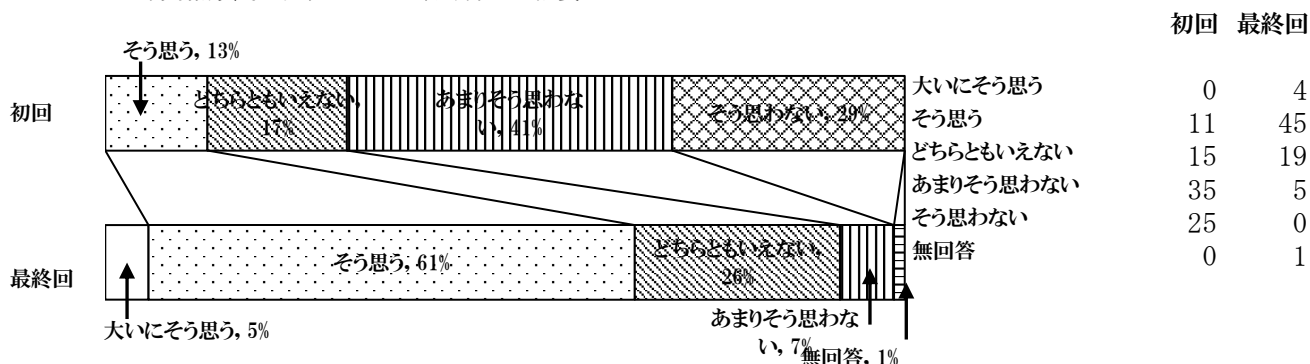


日本語以外の外国人支援を考えている	この3つの事情	5
別の活動に関心が向いた		
もう少し勉強してから始めたい		
個人的な事情		10
その他		1

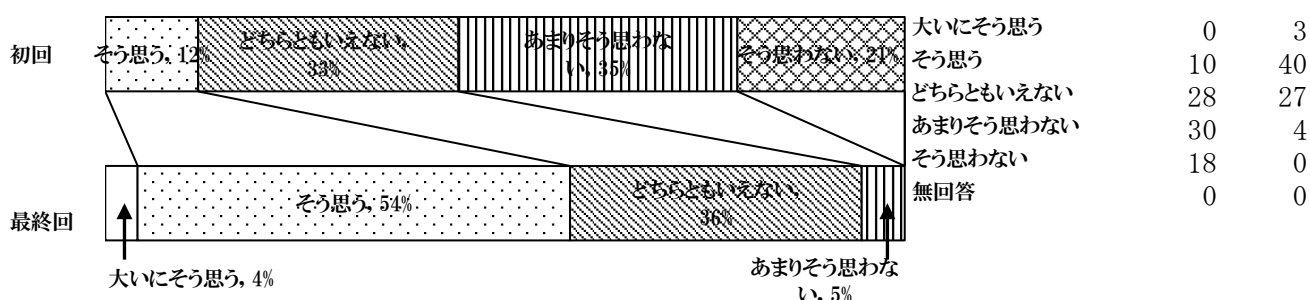
2017年度 成果指標 Can-do調査の結果： 外国籍県民等支援事業 日本語ボランティア入門講座

						初回	最終回
外-01-1	2017年	4月 8日～ 8月 5日（土）	全15回			12	7
外-01-2	2017年	5月12日～ 6月30日（金）	全15回			19	17
外-01-3	2017年	9月 5日～12月19日（火）	全15回			14	14
外-01-4	2017年	9月 6日～10月25日（水）	全15回			21	17
外-01-5	2018年	2月 1日～ 3月22日（木）	全15回			20	19
						86	74

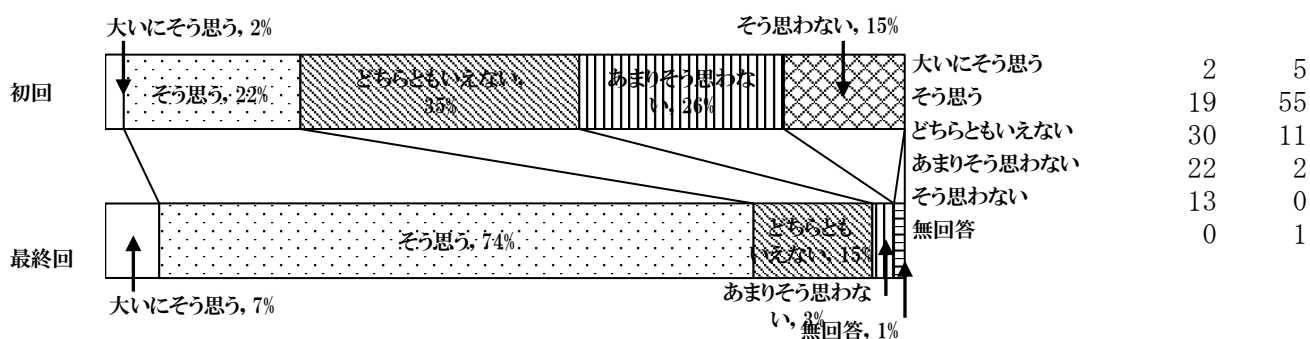
1. かながわの外国籍県民の状況とその地域的特色の概要がわかっている



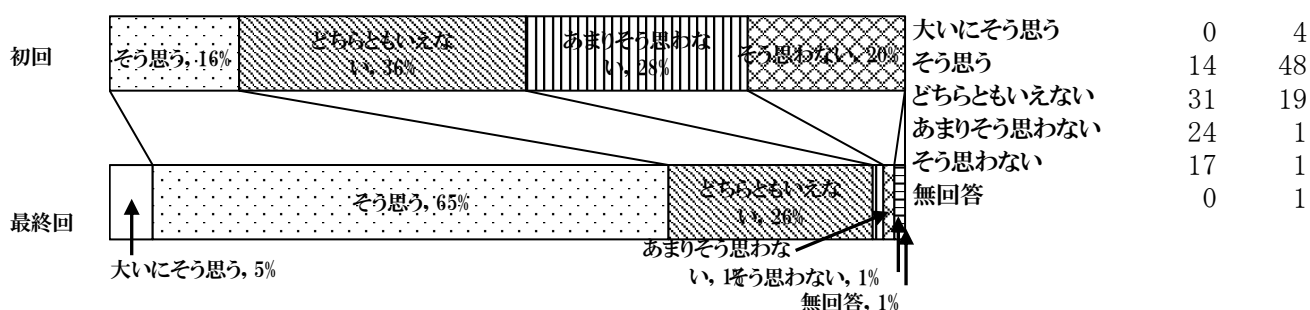
2. 外国から来て地域で生活する人には、どんな日本語支援が必要か、具体的にわかっている



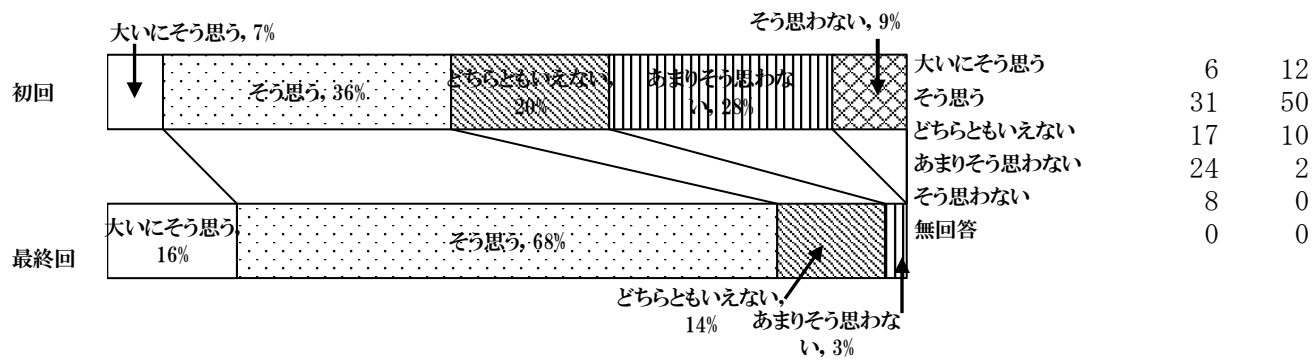
3. 日本語ボランティアの役割についてわかっている



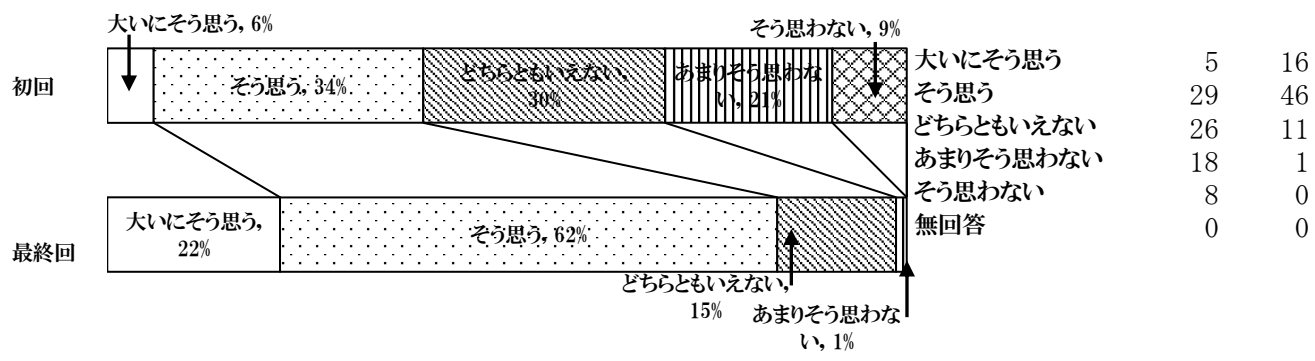
4. 日本語ボランティア活動が、外国から来た人へのことばの支援を通した生活支援であることを理解し、日本語教室で遭遇するかもしれない具体的な事柄がわかっている



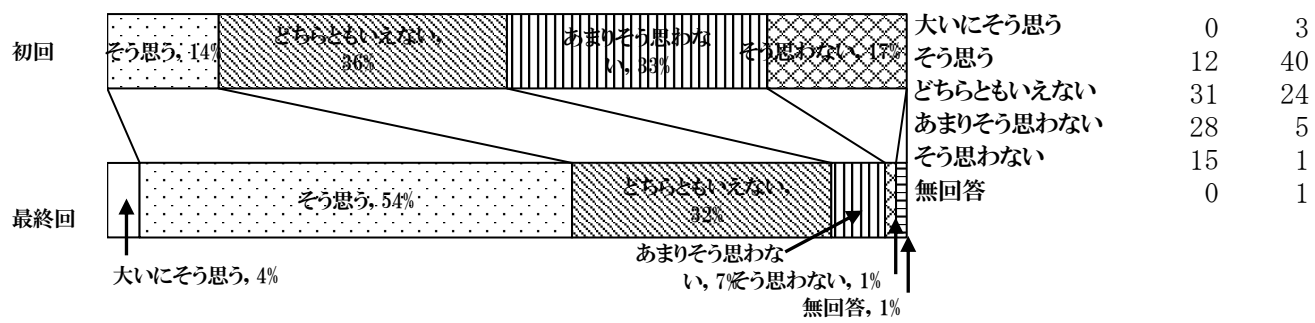
5. 外国語として日本語を学ぶときの方法は、日本の学校で「国語」を学ぶときの方法とは違うということが、具体的にわかっている



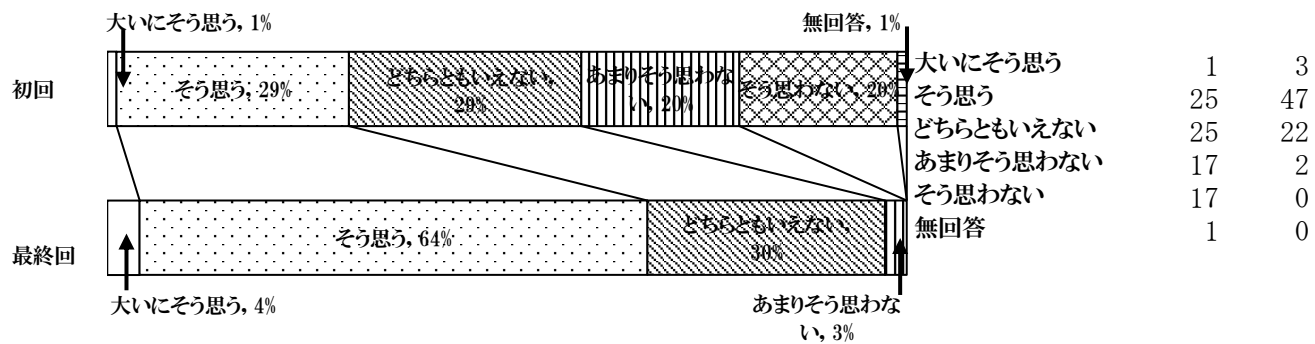
6. 日本語の学び方や学ぶときの難しさが、外国から来た人それぞれの状況で異なるということについて、具体的にわかっている



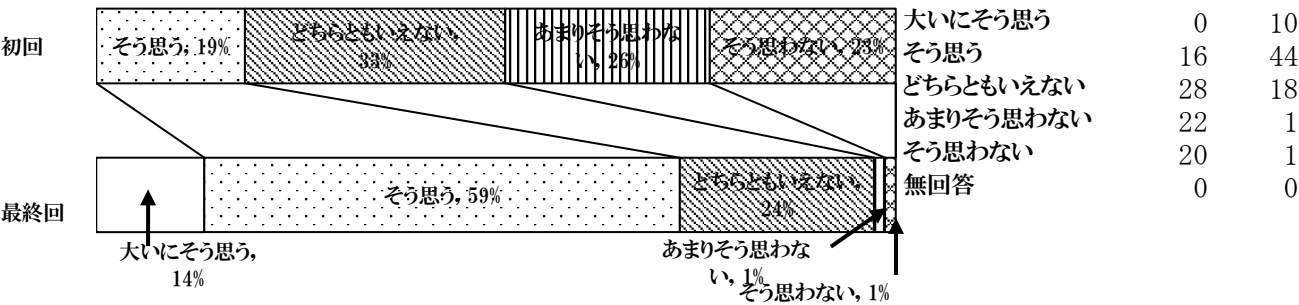
7. 外国から来た人に「やさしい日本語」(日本語を母語としない人にわかりやすい表現や使い方)を使って、自己紹介や物事の説明ができる



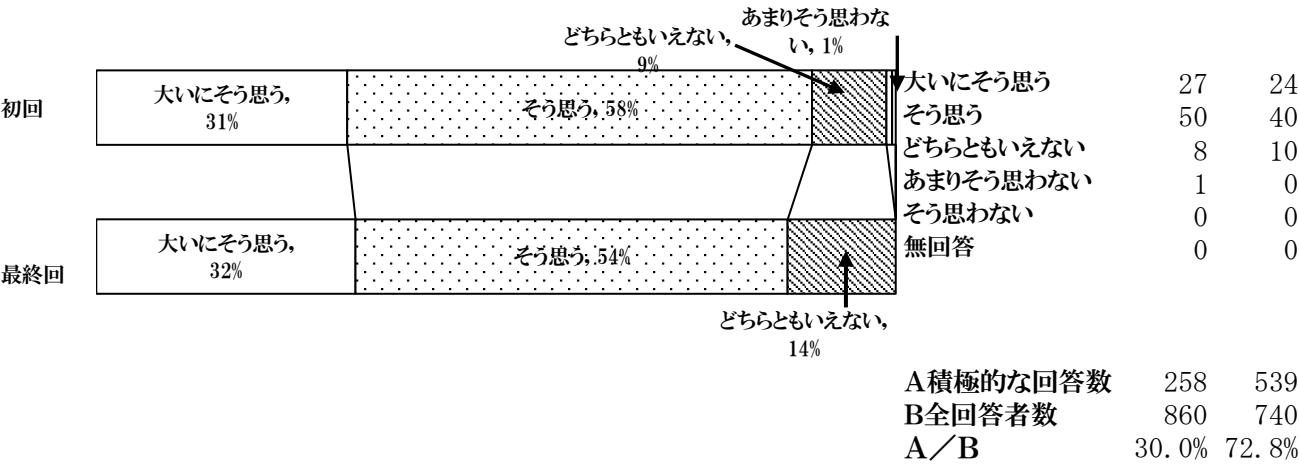
8. 日本語ボランティアの役割や活動を理解した上で、自分なりの対応範囲を考えて行動することができる



9. 日本語が通じにくい相手とのコミュニケーションや学習に、絵や道具がどう役立つかを理解して具体的な準備ができる

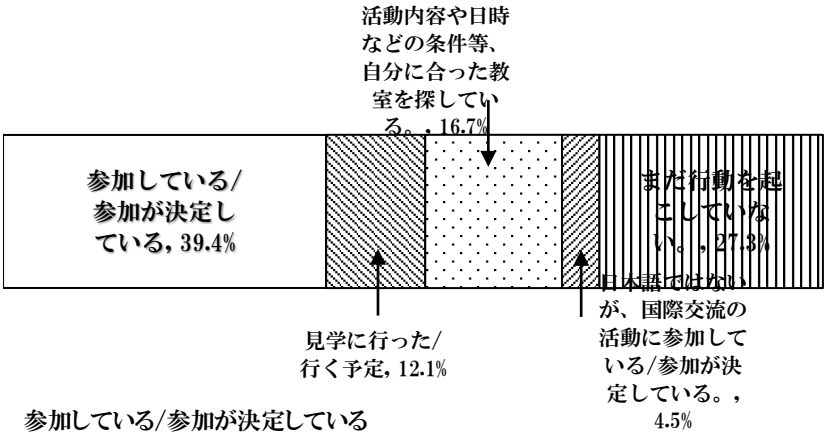


10. (講座で学んだことをもとにして) 外国から来た人のために、日本語ボランティア活動を何らかの形でしてみたい加したい



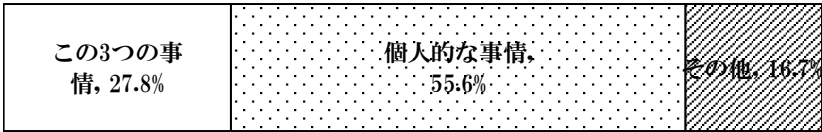
2017年度 成果指標 外国籍県民等支援事業
日本語ボランティア入門講座 講座終了後の行動変容アンケート集計結果

1 日本語ボランティア団体（学習支援も含む）に参加し、活動をしていますか。



参加している/参加が決定している	26	39.4%
見学に行った/行く予定	8	12.1%
活動内容や日時などの条件等、自分に合った教室を探している。	11	16.7%
日本語ではないが、国際交流の活動に参加している/参加が決定している。	3	4.5%
まだ行動を起こしていない。	18	27.3%

「まだ行動を起こしていない」理由を教えてください。

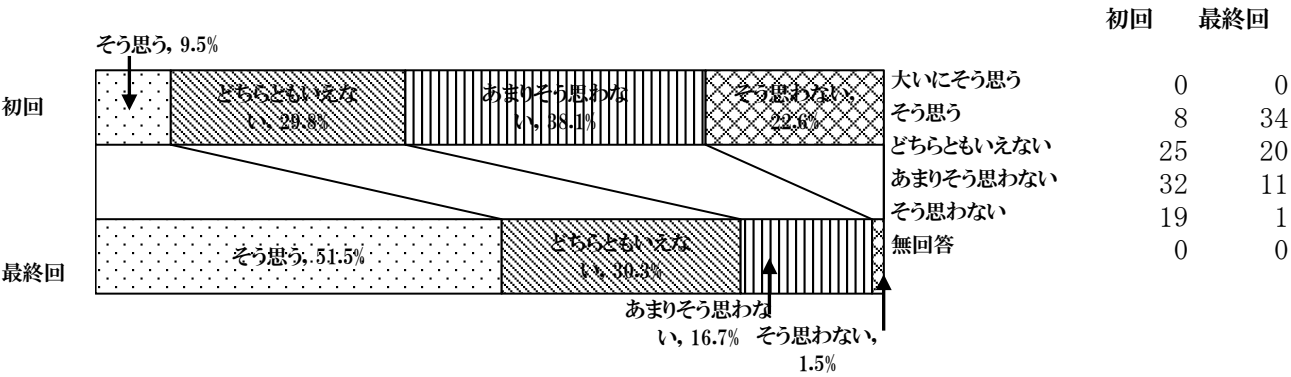


日本語以外の外国人支援を考えている 別の活動に関心が向いた もう少し勉強してから始めたい	}	この3つの事情	5	27.8%
個人的な事情		個人的な事情	10	55.6%
その他		その他	3	16.7%

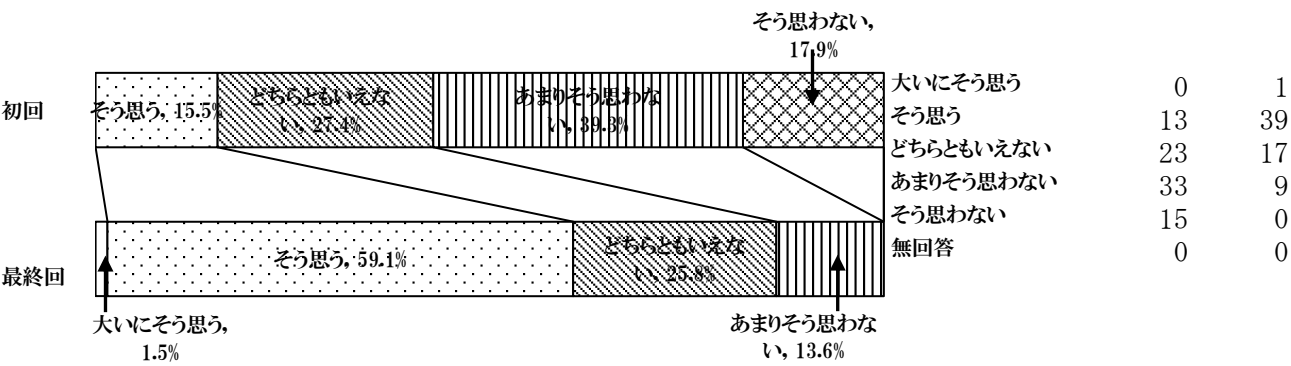
2018年度 成果指標 Can-do調査の結果： 外国籍県民等支援事業 日本語ボランティア入門講座

						初回	最終回
外-01-1	2018年	4月12日～	8月 2日（木）	全15回		19	17
外-01-2	2018年	5月12日～	7月 7日（土）	全15回		20	14
外-01-3	2018年	9月 4日～	12月18日（火）	全15回		16	11
外-01-4	2018年	10月26日～	12月21日（金）	全15回		11	11
外-01-5	2019年	1月21日～	3月18日（月）	全15回		18	13
計						84	66

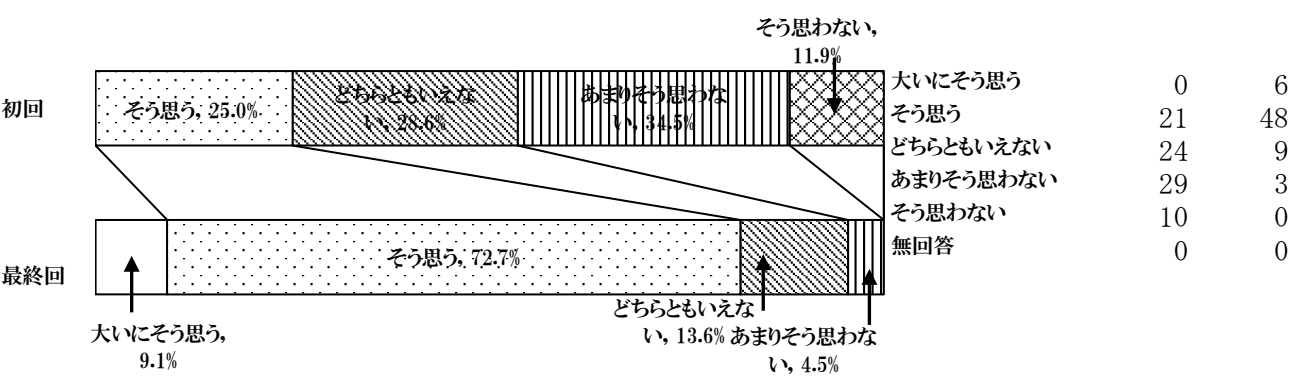
1. かながわの外国籍県民の状況とその地域的特色の概要がわかっている



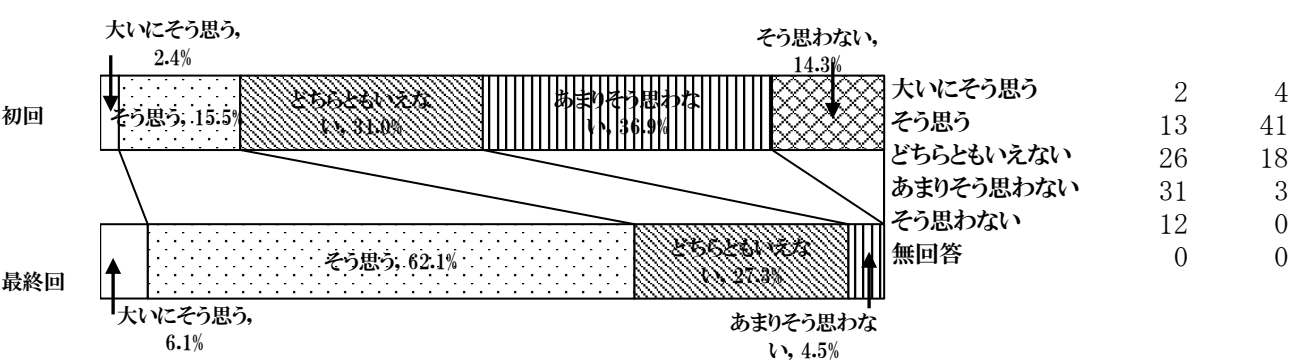
2. 外国から来て地域で生活する人には、どんな日本語支援が必要か、具体的にわかっている



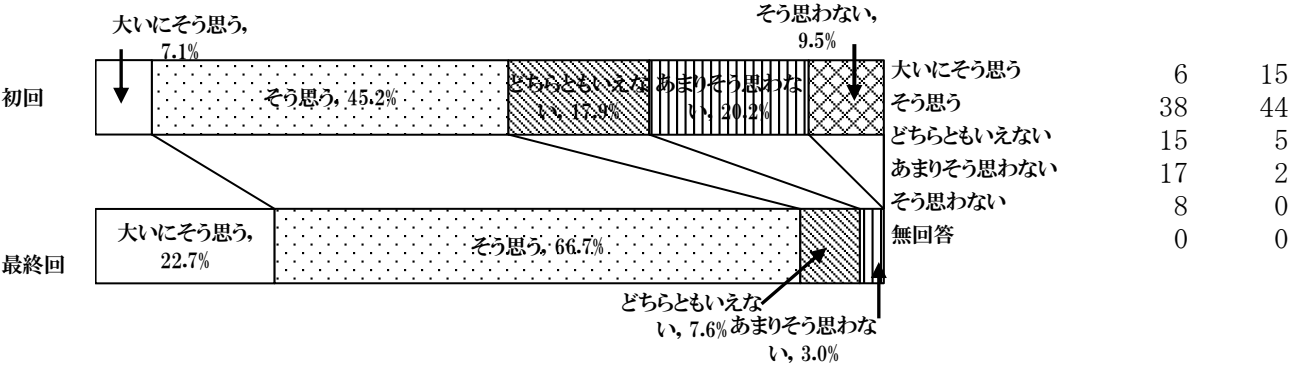
3. 日本語ボランティアの役割についてわかっている



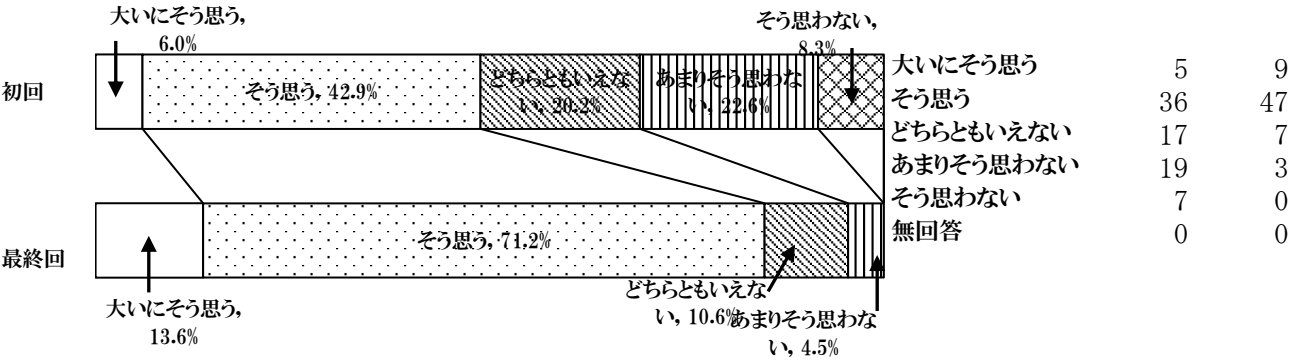
4. 日本語ボランティア活動が、外国から来た人へのことばの支援を通した生活支援であることを理解し、日本語教室で遭遇するかもしれない具体的な事柄がわかっている



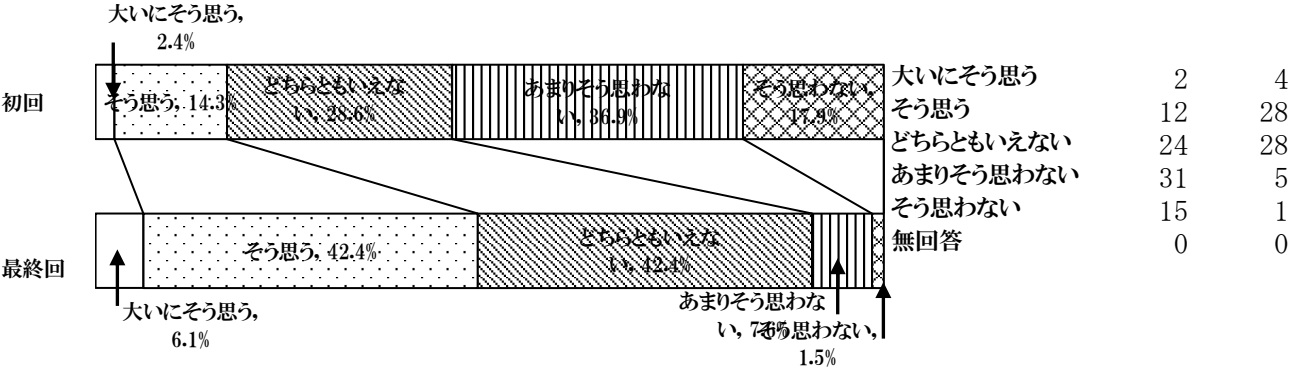
5. 外国語として日本語を学ぶときの方法は、日本の学校で「国語」を学ぶときの方法とは違うということが、具体的にわかっている



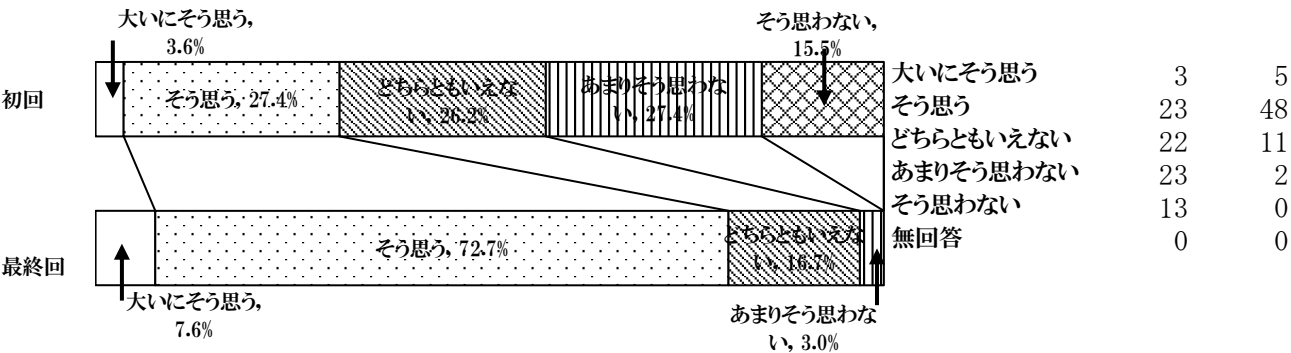
6. 日本語の学び方や学ぶときの難しさが、外国から来た人それぞれの状況で異なるということについて、具体的にわかっている



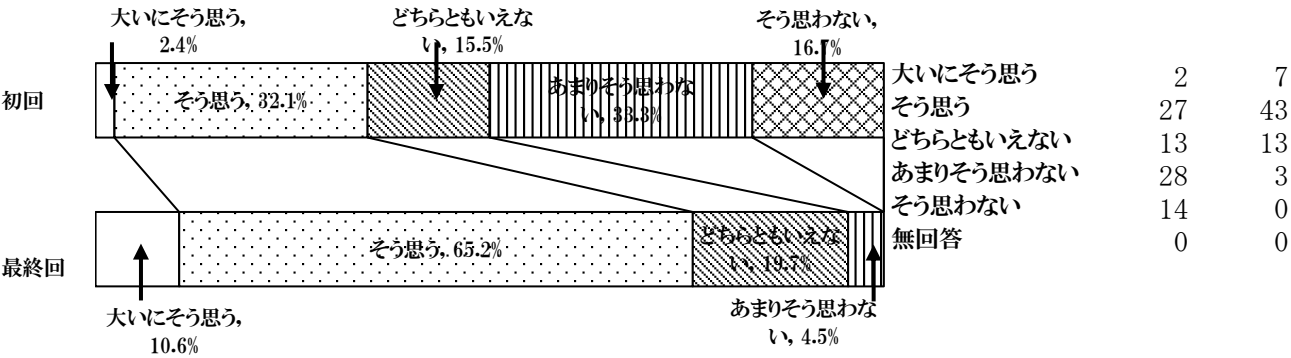
7. 外国から来た人に「やさしい日本語」(日本語を母語としない人にわかりやすい表現や使い方)を使って、自己紹介や物事の説明ができる



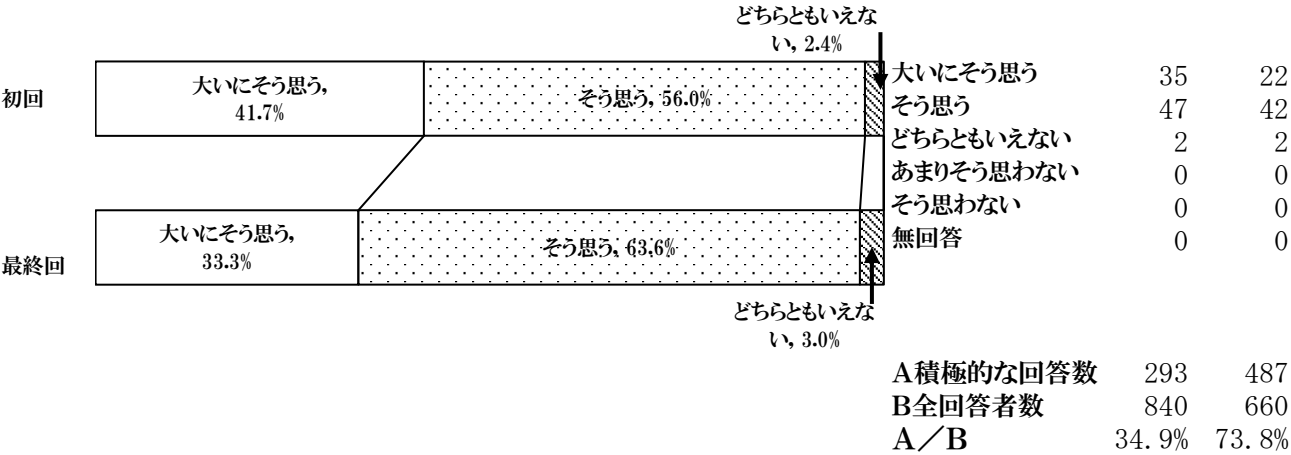
8. 日本語ボランティアの役割や活動を理解した上で、自分なりの対応範囲を考えて行動することができる



9. 日本語が通じにくい相手とのコミュニケーションや学習に、絵や道具がどう役立つかを理解して具体的な準備ができる



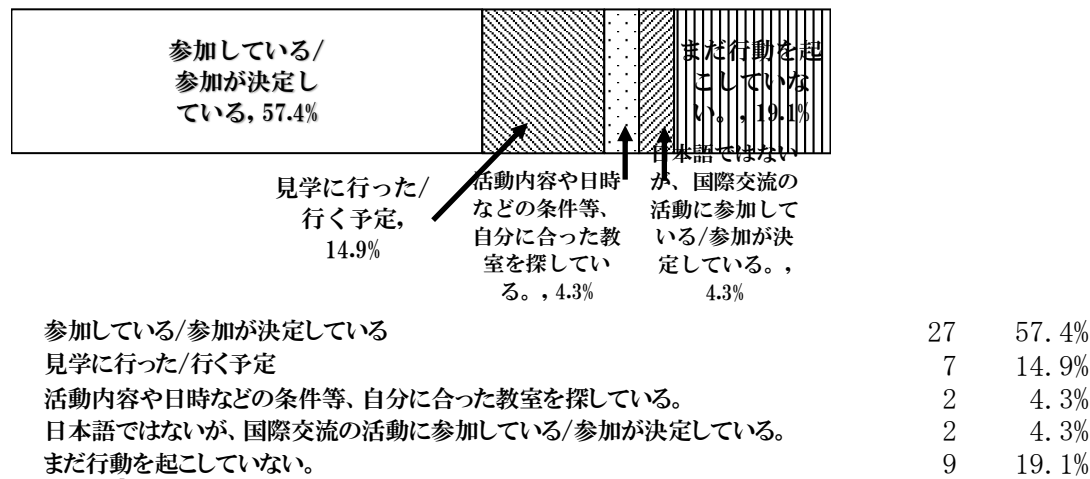
10. (講座で学んだことをもとにして) 外国から来た人のために、日本語ボランティア活動を何らかの形でしてみたい加したい



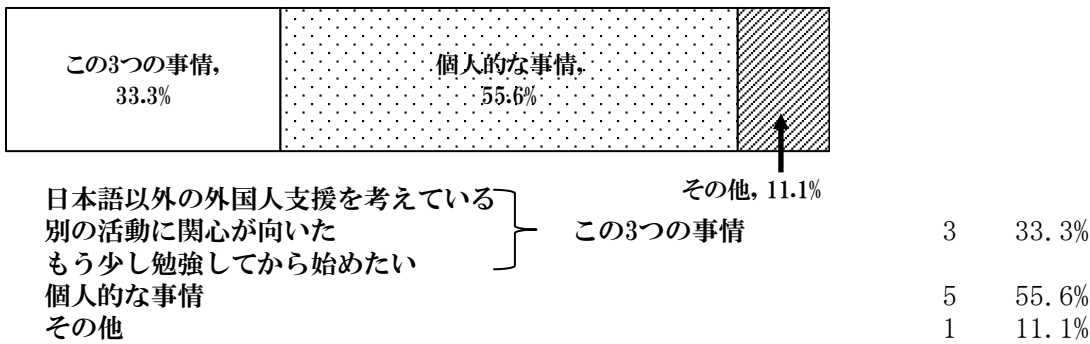
平成30年度 成果指標 外国籍県民等支援事業
日本語ボランティア入門講座 講座終了後の行動変容アンケート集計結果

各講座の修了者に講座終了後3ヶ月の時点でアンケートを送付し、回答を集計
(5回中5回目まで 回答者数63名中47人)

1 日本語ボランティア団体（学習支援も含む）に参加し、活動をしていますか。



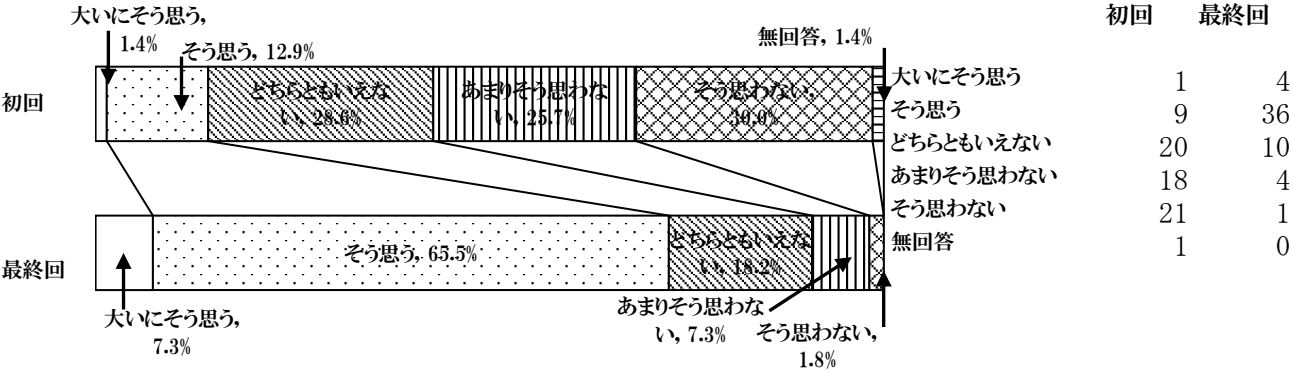
2 「まだ行動を起こしていない」理由を教えてください。



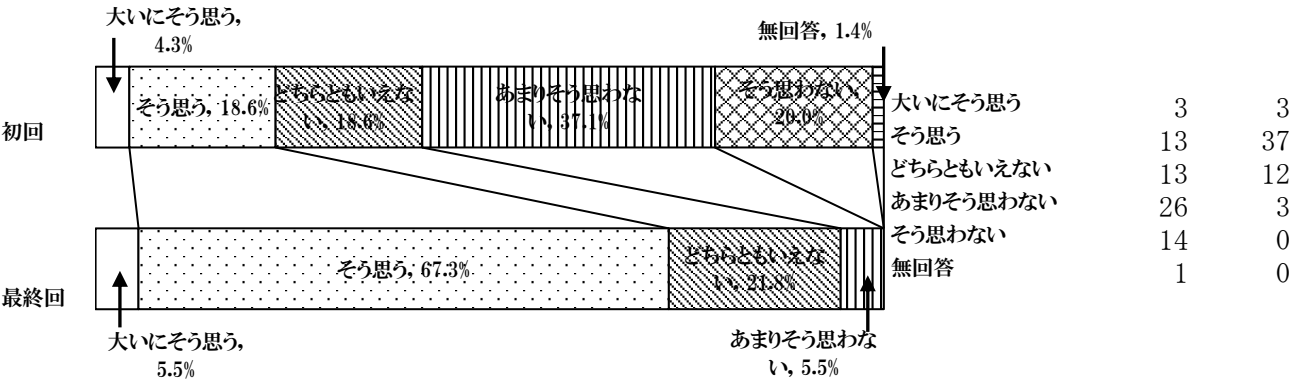
2019年度 成果指標 Can-do調査の結果： 外国籍県民等支援事業 日本語ボランティア入門講座

					初回	最終回
外-01-1	2019年	4月 9日～ 7月30日（火）	全15回		18	12
外-01-2	2019年	5月25日～ 7月20日（土）	全15回		13	14
外-01-3	2019年	9月 6日～12月20日（金）	全15回		19	13
外-01-4	2020年	1月15日～ 3月 4日（水）	全15回		20	16
計					70	55

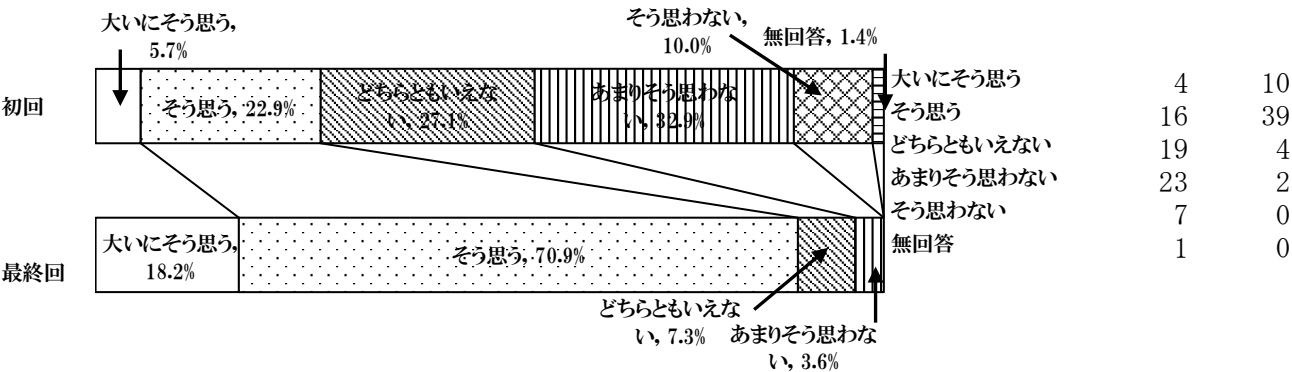
1. かながわの外国籍県民の状況とその地域的特色の概要がわかっている



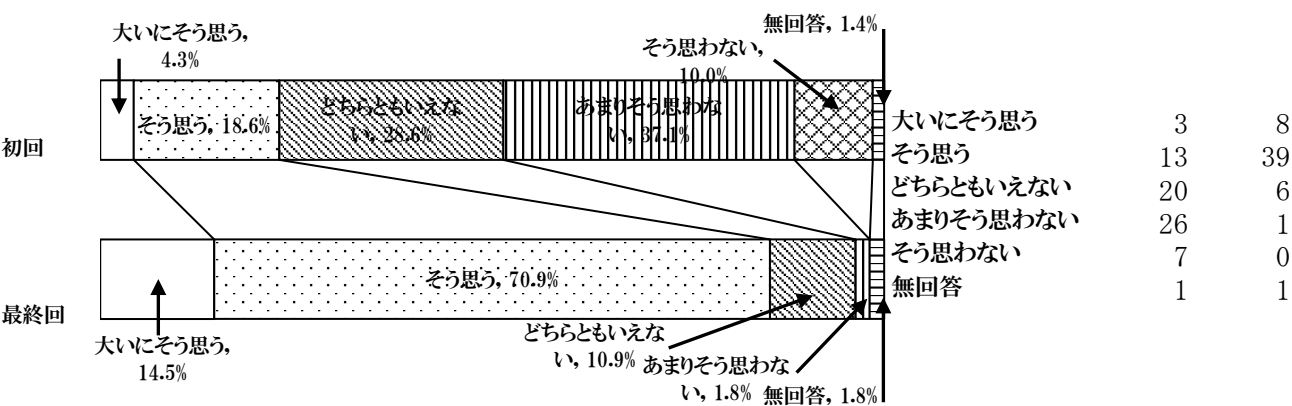
2. 外国から来て地域で生活する人には、どんな日本語支援が必要か、具体的にわかっている



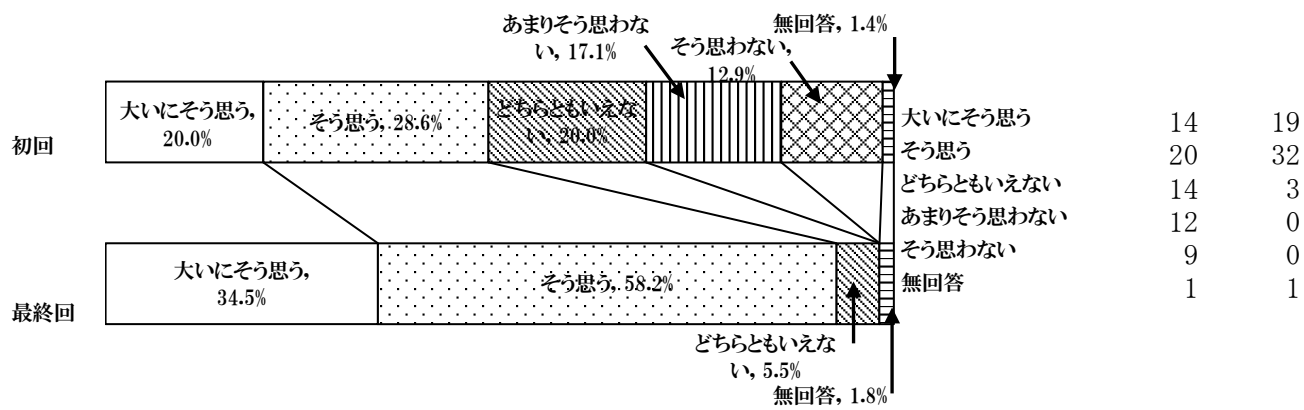
3. 日本語ボランティアの役割についてわかっている



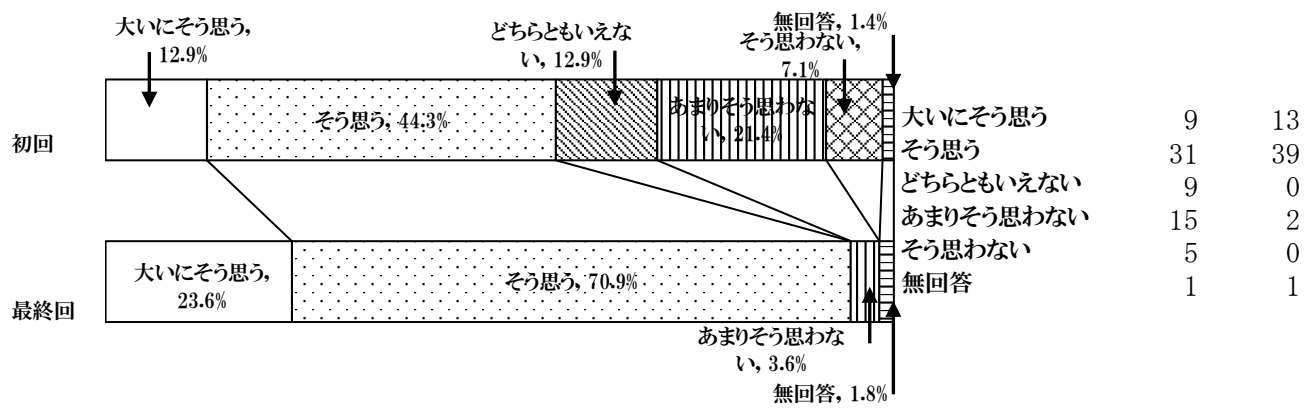
4. 日本語ボランティア活動が、外国から来た人へのことばの支援を通した生活支援であることを理解し、日本語教室で遭遇するかもしれない具体的な事柄がわかっている



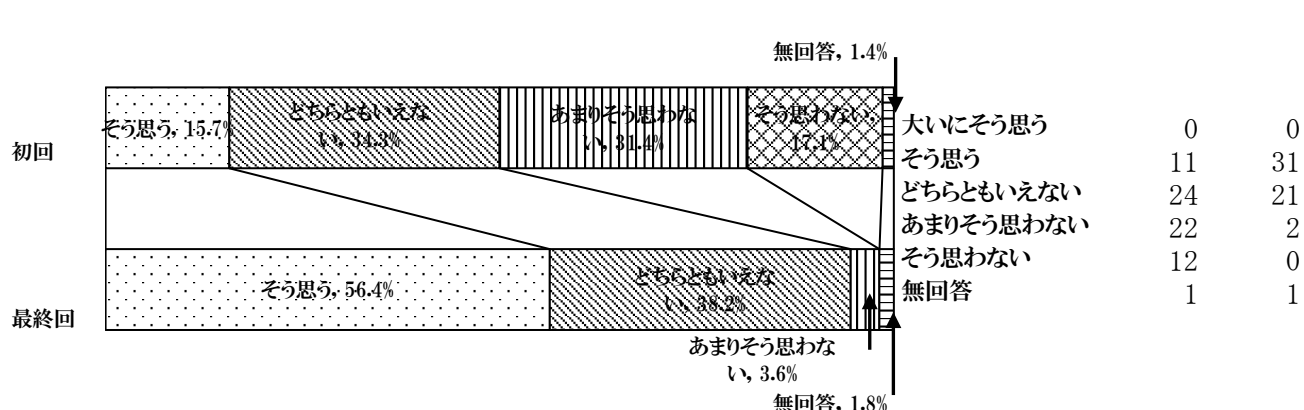
5. 外国語として日本語を学ぶときの方法は、日本の学校で「国語」を学ぶときの方法とは違うということが、具体的にわかっている



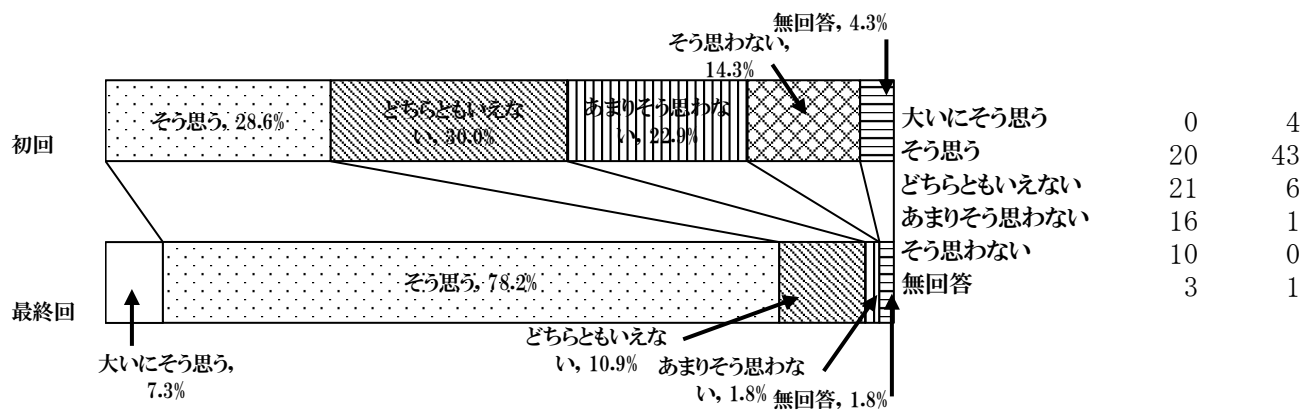
6. 日本語の学び方や学ぶときの難しさが、外国から来た人それぞれの状況で異なるということについて、具体的にわかっている



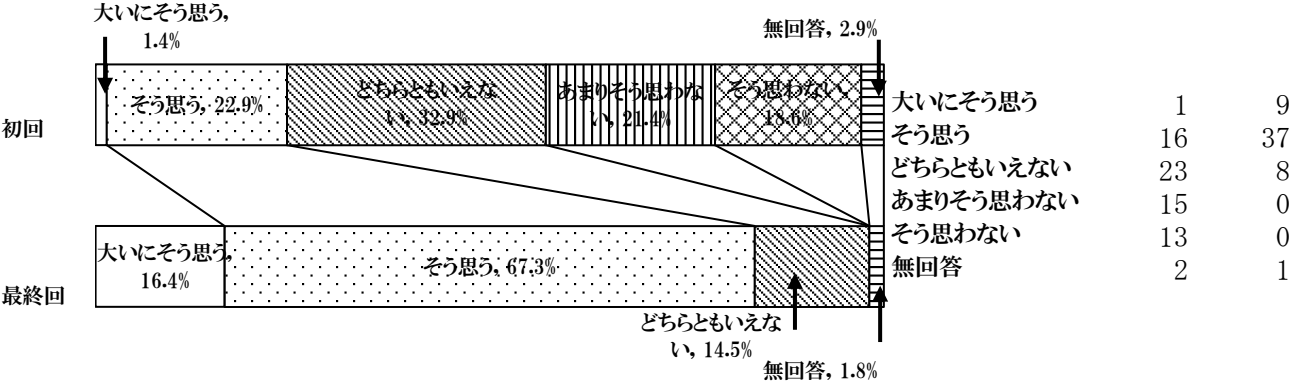
7. 外国から来た人に「やさしい日本語」(日本語を母語としない人にわかりやすい表現や使い方)を使って、自己紹介や物事の説明ができる



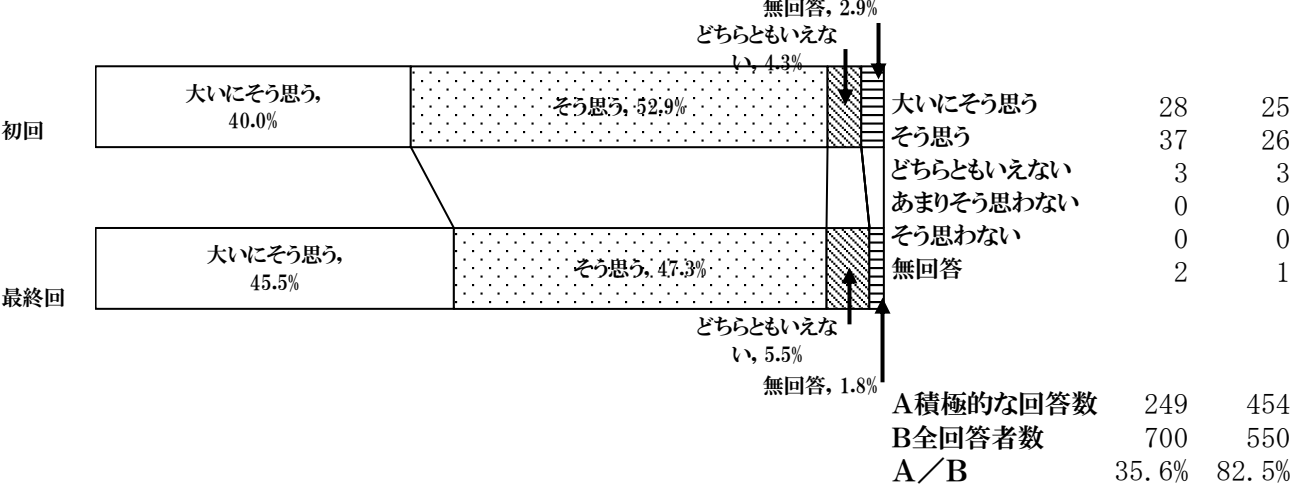
8. 日本語ボランティアの役割や活動を理解した上で、自分なりの対応範囲を考えて行動することができる



9. 日本語が通じにくい相手とのコミュニケーションや学習に、絵や道具がどう役立つかを理解して具体的な準備ができる



10. (講座で学んだことをもとにして) 外国から来た人のために、日本語ボランティア活動を何らかの形でしてみたい加したい

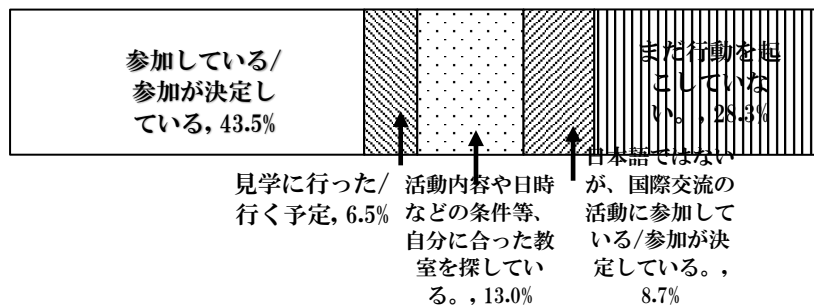


平成31年度 成果指標 外国籍県民等支援事業 日本語ボランティア入門講座 講座終了後の行動変容アンケート集計結果

各講座の修了者に講座終了後3ヶ月の時点でアンケートを送付し、回答を集計

(4回中4回目まで 回答者数61名中46人)

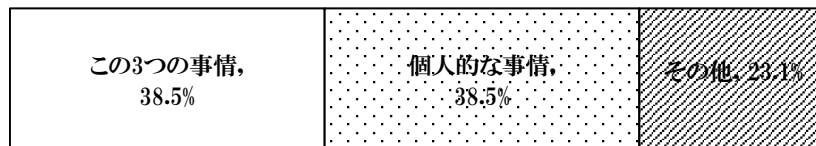
1 日本語ボランティア団体（学習支援も含む）に参加し、活動をしていますか。



参加している/参加が決定している	20	43.5%
見学に行った/行く予定	3	6.5%
活動内容や日時などの条件等、自分に合った教室を探している。	6	13.0%
日本語ではないが、国際交流の活動に参加している/参加が決定している。	4	8.7%
まだ行動を起こしていない。	13	28.3%



2 「まだ行動を起こしていない」理由を教えてください。



日本語以外の外国人支援を考えている	この3つの事情	5	38.5%
別の活動に関心が向いた			
もう少し勉強してから始めたい			
個人的な事情		5	38.5%
その他		3	23.1%

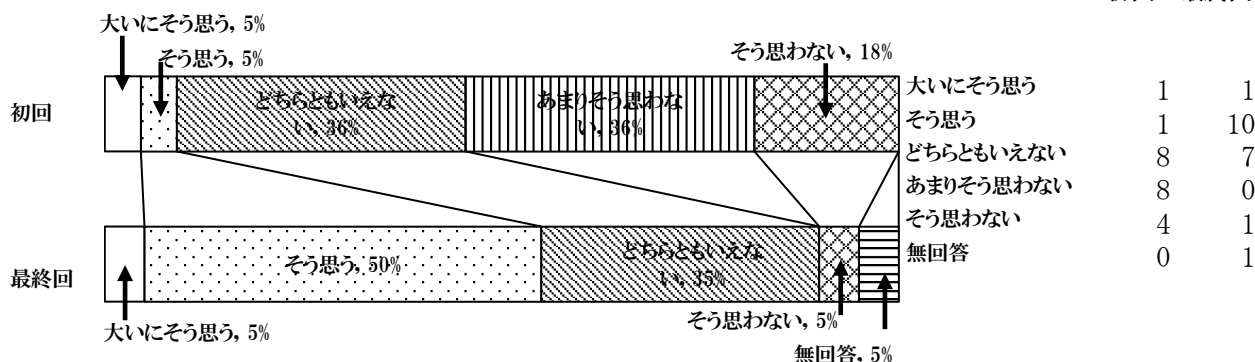
令和2年度 成果指標 Can-do調査の結果： 外国籍県民等支援事業 日本語ボランティア入門講座

外-01-1 令和2年 8月6日～9月10日（木）全12回
外-01-2 令和2年 8月8日～9月12日（土）全12回

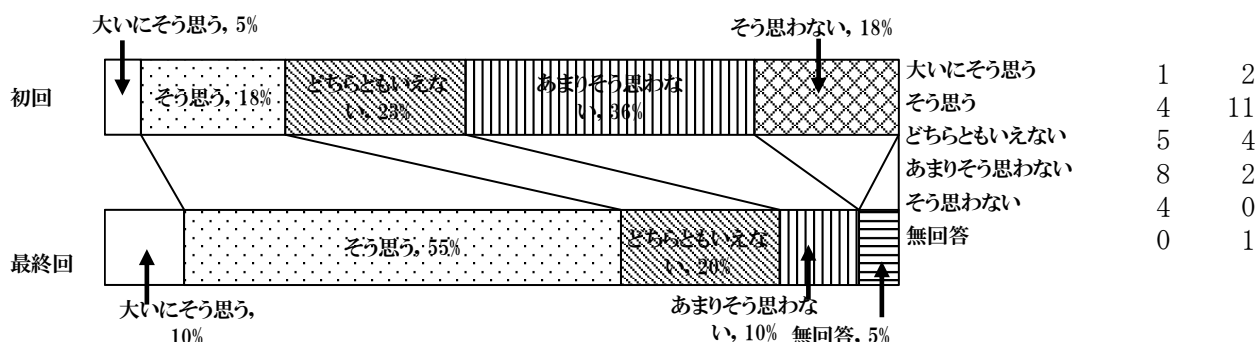
初回 最終回
22人 20人

1. かながわの外国籍県民の状況とその地域的特色の概要がわかっている

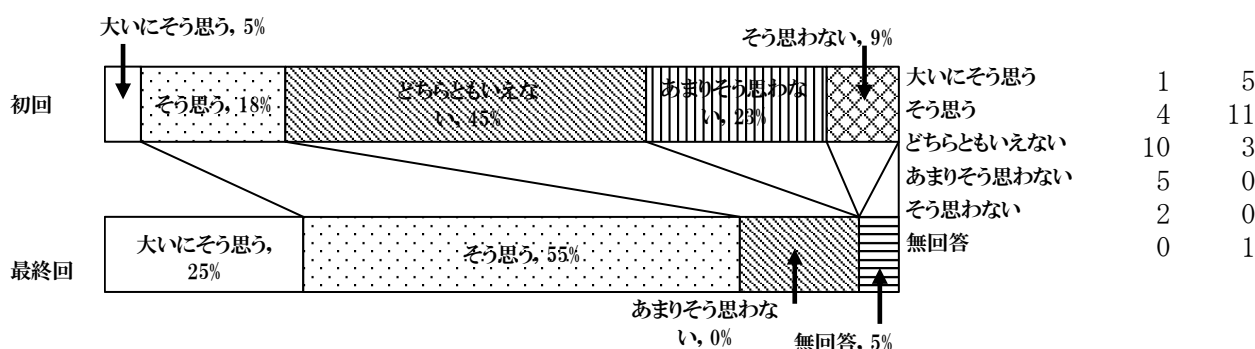
初回 最終回



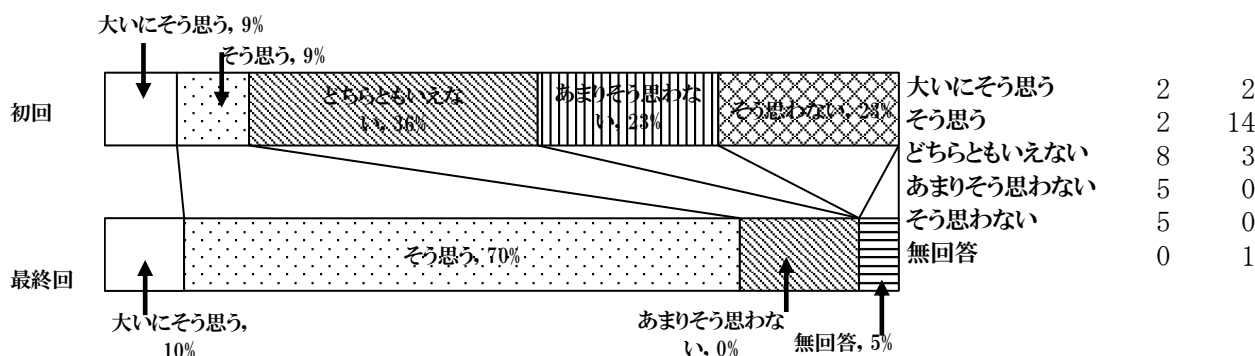
2. 外国から来て地域で生活する人には、どんな日本語支援が必要か、具体的にわかっている



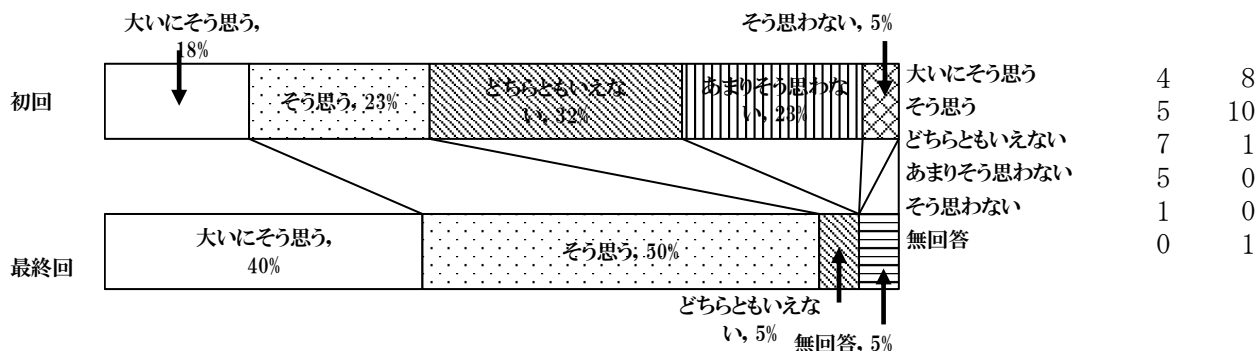
3. 日本語ボランティアの役割についてわかっている



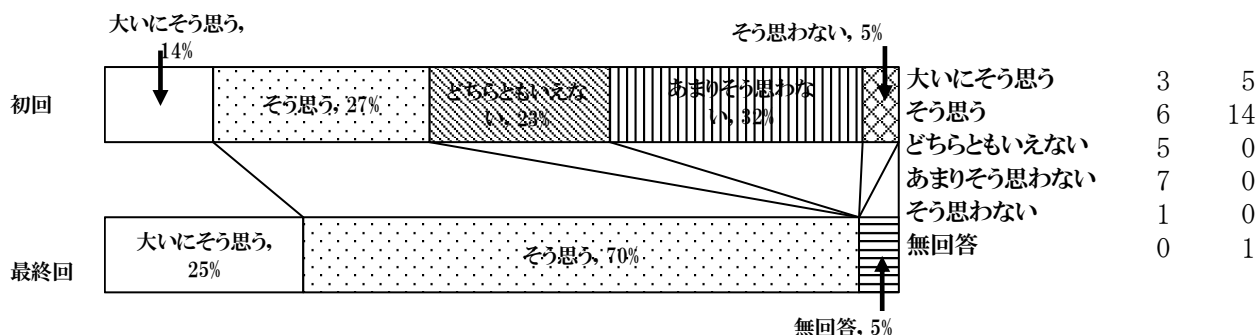
4. 日本語ボランティア活動が、外国から来た人へのことばの支援を通した生活支援であることを理解し、日本語教室で遭遇するかもしれない具体的な事柄がわかっている



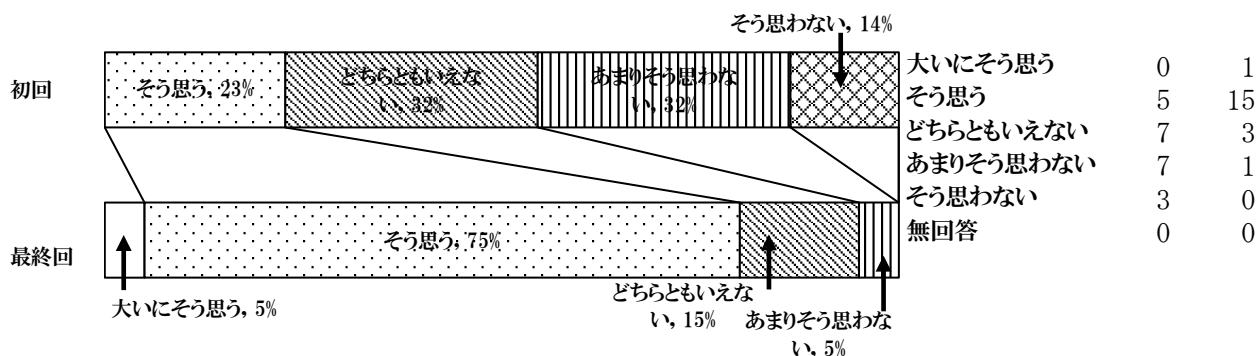
5. 外国語として日本語を学ぶときの方法は、日本の学校で「国語」を学ぶときの方法とは違うということが、具体的にわかっている



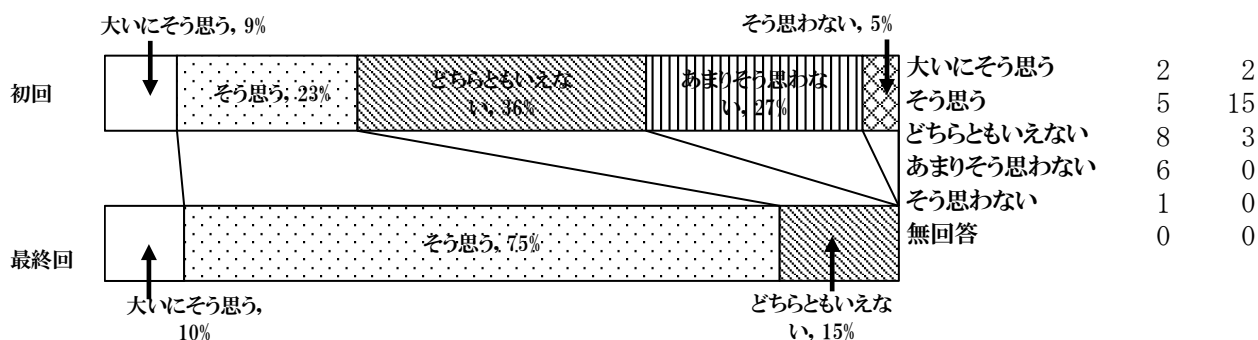
6. 日本語の学び方や学ぶときの難しさが、外国から来た人それぞれの状況で異なるということについて、具体的にわかっている



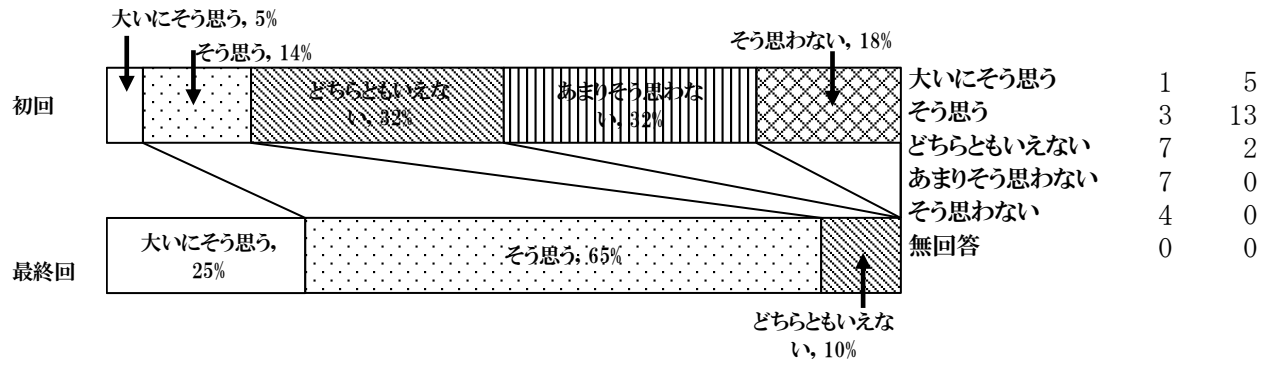
7. 外国から来た人に「やさしい日本語」(日本語を母語としない人にわかりやすい表現や使い方)を使って、自己紹介や物事の説明ができる



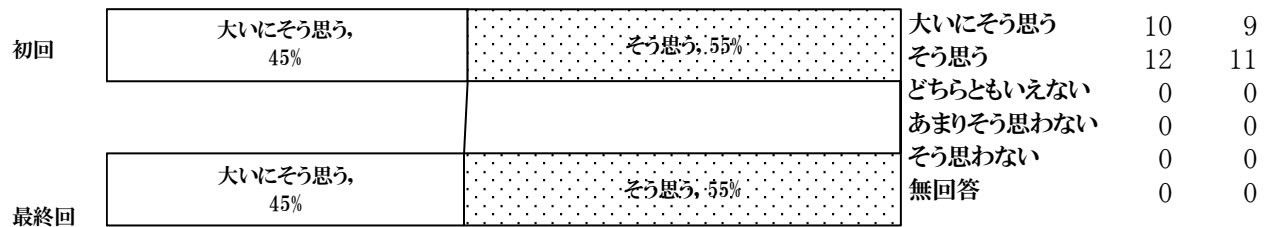
8. 日本語ボランティアの役割や活動を理解した上で、自分なりの対応範囲を考えて行動することができる



9. 日本語が通じにくい相手とのコミュニケーションや学習に、絵や道具がどう役立つかを理解して具体的な準備ができる



10. (講座で学んだことをもとにして)外国から来た人のために、日本語ボランティア活動を何らかの形でしてみたい加したい



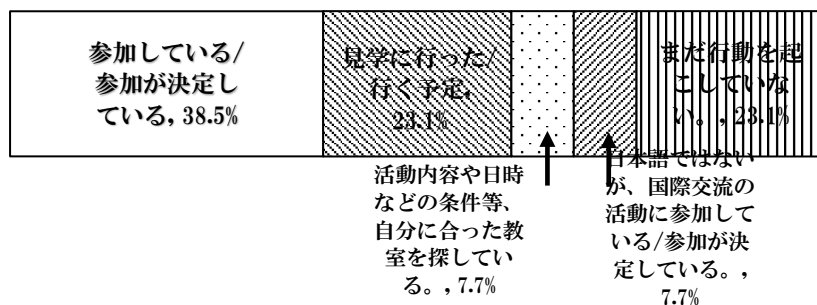
注) 今回は新型コロナウイルス感染症対策のため定員を絞ったせい、どの問についても「そう思わない」というような消極的な回答が減り、講師の話やボランティア活動を勧める講師の話がそのまま伝わったような感がある。

令和2年度 成果指標 外国籍県民等支援事業 日本語ボランティア入門講座 講座終了後の行動変容アンケート集計結果

各講座の修了者に講座終了後3ヶ月の時点でアンケートを送付し、回答を集計

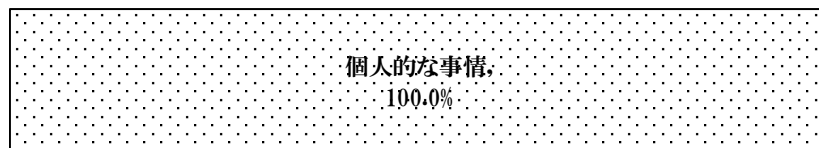
(2回中2回目まで 回答者数22名中13人)

1 日本語ボランティア団体（学習支援も含む）に参加し、活動をしていますか。



参加している/参加が決定している	5	38.5%
見学に行った/行く予定	3	23.1%
活動内容や日時などの条件等、自分に合った教室を探している。	1	7.7%
日本語ではないが、国際交流の活動に参加している/参加が決定している。	1	7.7%
まだ行動を起こしていない。	3	23.1%

2 「まだ行動を起こしていない」理由を教えてください。



日本語以外の外国人支援を考えている 別の活動に関心が向いた もう少し勉強してから始めたい 個人的な事情 その他	この3つの事情	0	0.0%
		3	100.0%
		0	0.0%

(注) 今年度の入門講座は新型コロナウイルス感染症の第1波終息後の7月から9月にかけて2クラスを開催することができた。途中で休止となることを懸念し、速習コース（1日2コマで2回分学習）で実施、かつ、比較的周縁と考えられる内容は別の講座として独立させたため、6週で終了し、通常より2週間短かった。講座実施期間にはまだボランティアによる日本語教室活動が再開されていない地域も少なくなく、その後も令和2年度内はずっと休室という教室も少なくない。

こうした状況のため、活動参加のタイミングを逸した結果、1の教室活動への参加決定者が5ポイント減少したと思われる。2の「まだ行動を起こしていない理由」は母数3とわずかであるため、偶然ともえいるが、概して市民活動が低調であったことが影響しているのではないかと推察される。